

表 各説話において御嶽が語られるときの諸要素

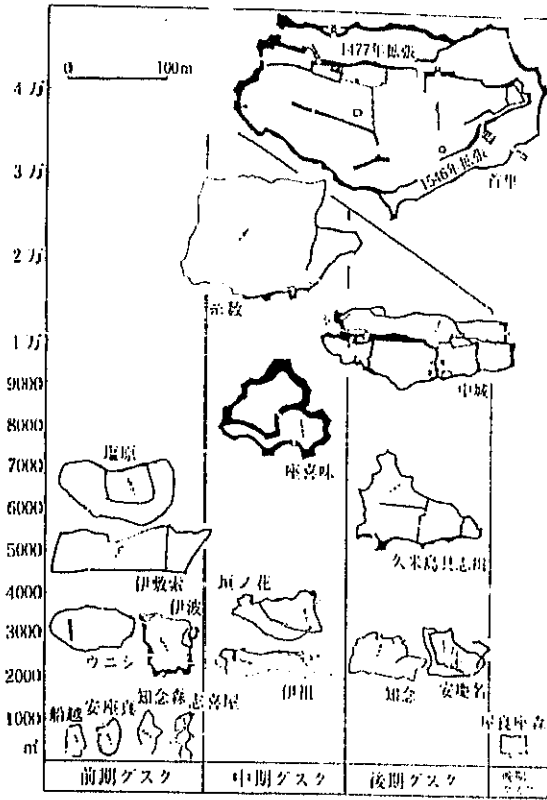
	説話番号	御嶽の由来 御嶽に遺骨を葬る 以って御嶽となす	聖なる石	聖なる木	聖なる水	英雄・豪傑	徳ある人物	非業の死	ニライカナイ ー竜宮ー	羽衣伝説天女	神	神女	蛇	神と民夫婦となる	動物	護国庇民の神	創世譚ー島立てー	幼女受胎	航海守護の御嶽	海の収穫	五穀の神として祭ら れる御嶽	鉄器伝来	悪漢・怪物	津波	
唐守嶽のこと	20																								
安勢理由嶽の由来二説	23																								
アフリ嶽等に涼傘の事	25																								
船蔵嶽由来の事	26																								
久場唐嶽の天女伝説	34																								
大鯨退治の事	36																								
瓦瀬嶽由来の事	39																								
運城嶽・泊御嶽	41																								
ヨクツナノ嶽	42																								
イシキナワ御嶽	47																								
仲里城御嶽	48																								
トンナハ御嶽	49																								
ノロと補陀落僧	54																								
尻間御嶽	57																								
尻間御嶽	59																								
目利真御嶽	61																								
羽地ノロ・古重御嶽	67																								
漲水御嶽	68																								
始めて中山に入貢	69																								
嶽中の石を船に乗せる	70																								
船立御嶽	71																								
山立御嶽	72																								
喜佐真御嶽	74																								
乗瀬御嶽	75																								
遠曾呂	77																								
瓦瀬御嶽由来	78																								
宮屋島御嶽由来	81																								
鉄器伝来	82																								
稻の異種を広める	91																								
崎山嶽由来	94																								
稻福婆	101																								
熱田子	102																								
オサン御嶽	103																								
安平田御嶽	105																								
怪牛と闘う	106																								
鄭大夫の妹	107																								
黄金を異老より賜る	108																								
屋部津美由	123																								
津堅島の事	127																								
日本僧の病故	131																								
聞得大君の漂流	133																								
友盛御嶽由来	135																								
湖波嶽の霊石	137																								
名蔵嶽の由来	140																								
計		27	14	11	11	1	5	2	10	5	2	16	10	1	4	3	5	3	2	5	1	4	2	5	1

説話の最も重要な要素となるもの

説話の主要な要素

説話の要素となり得るもの

<図②>



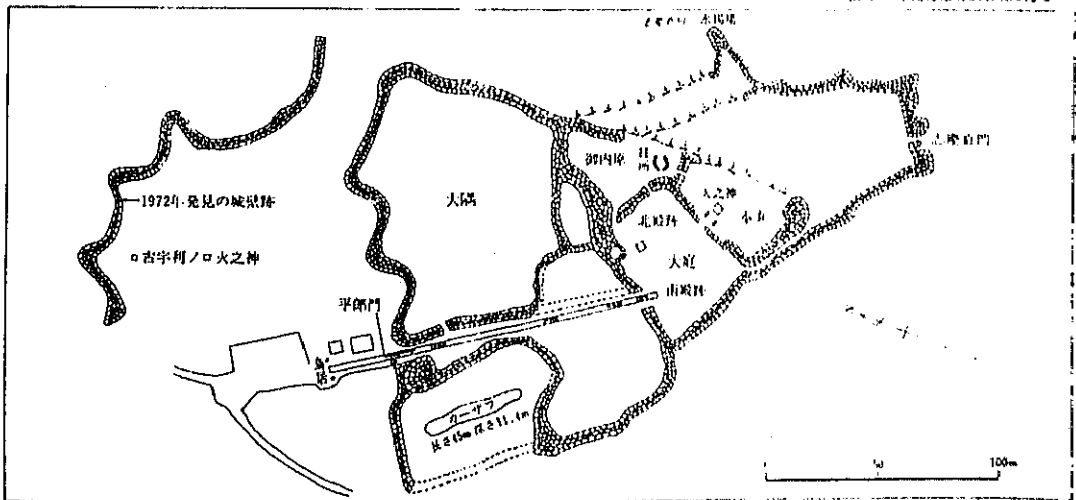
石積みグスクの編年(安里進1987より)

『新版『古代の日本』第3巻 九州・沖縄』、1991年より転載

<図③>

今帰仁城跡概略図

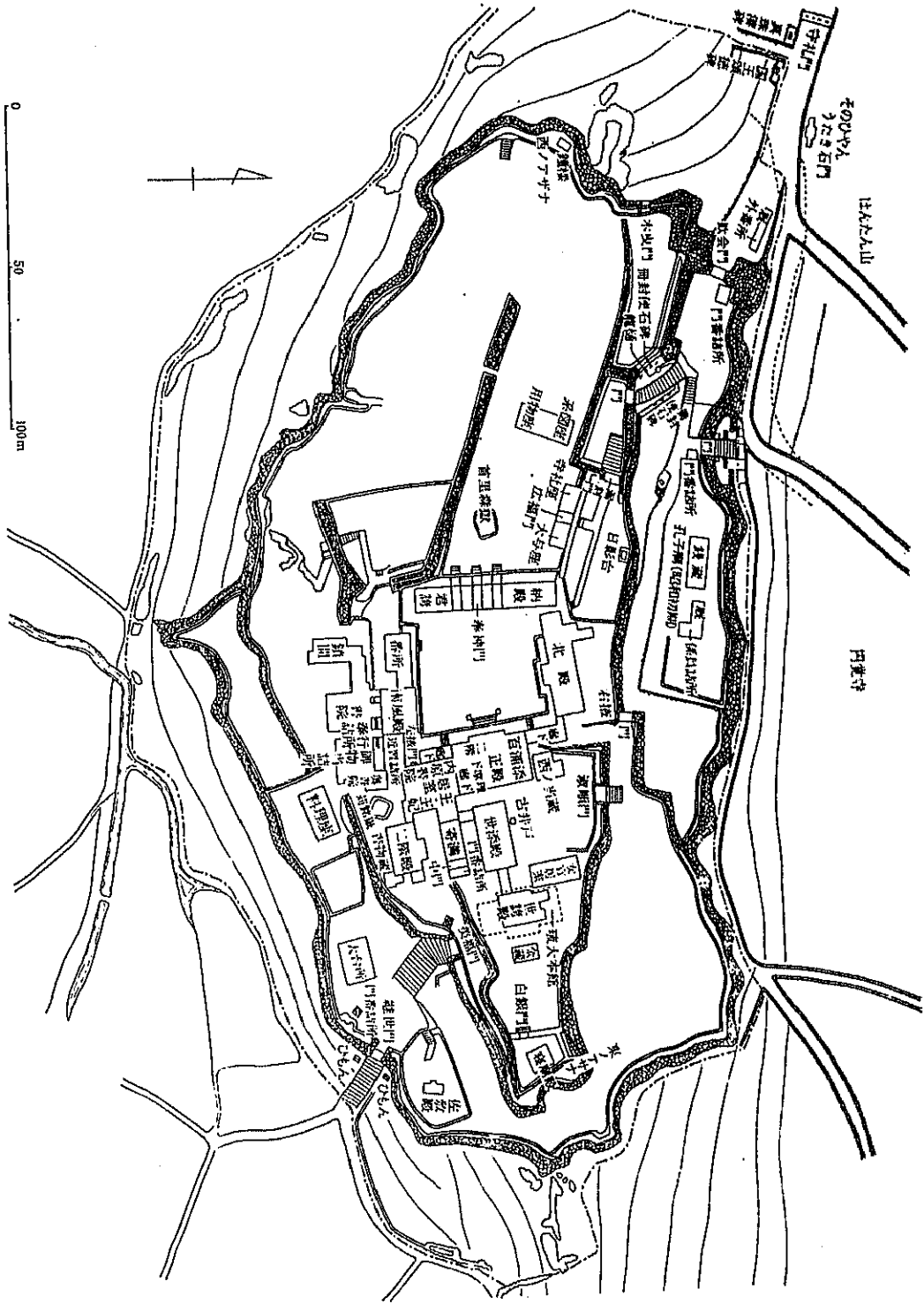
出典『沖縄文化財調査報告』より



『沖縄大百科事典』、沖縄タイムス社、1983年より転載



0 50 100m



首里グスク要図(『首里城鉄金門復元工事報告書』より)

『日本城郭大系1 北海道・沖縄』新人物往来社、1980年より転載

表 アマウェーダ型の神歌

クウェーナ

	歌名(地域)	出典	重複番号
59	豊作の祈願のクウェーナ(玉城村百名)	島尻郡誌	60,62,88,137
60	あまへーだの歌(玉城村百名)	島尻郡誌	59,62,88,137
62	田植糸のクウェーナ(玉城村百名)	島尻郡誌	59,60,88,137
67	田の祝の歌(豊見城辺)	島尻郡誌	
82	田の祝いのクエナ(国頭村安田)	民俗4号	117,
87	浦添間切西原村のアマウェーダー	琉球王朝古謡秘曲の研究	
88	玉城仲村渠の天親田<ミントゥンのクエナ>	琉球王朝古謡秘曲の研究	
89	浦添間切沢岬村アマウェーダー	琉球王朝古謡秘曲の研究	
113	天人の教(国頭村比地)	沖縄の古代部落マキヨの研究	
117	田の祝のクエナ(国頭村安田)	国頭村の今昔	82,
130	種子取の時のアマウェーダー(真和志間切識名村)	伊波普猷全集5巻	
137	ウエタヌウタ(玉城村百名)	平敷屋朝敏の文学	59,60,62,88

ミセセル

	歌名(地域)	出典	重複番号
9	柴差の時あむがなし屋敷の庭にてみせぜよ (伊平屋島)	琉球国由来記	

ティルクグチ

	歌名(地域)	出典	重複番号
1	テルク口(田名村)	伊平屋テルク口	
2	テルク口(伊是名村)	伊平屋テルク口	
3	諸見村テロコ口	伊平屋テルク口	
4	テルク口チ(伊平屋嶋尻村)	伊平屋テルク口	
5	テルク口説(我喜屋)	島尻郡誌	
6	てるく口説(田名)	島尻郡誌	
7	仲田のてるくち	島尻郡誌	
8	諸見てるくち	島尻郡誌	
9	我喜屋村のテルク口(伊平屋村)	伊平屋村誌	
10	田名のテロコ口	伊平屋村誌	
11	字伊是名のテルク口	伊是名村誌	
12	字勢理客のテルク口	伊是名村誌	
13	字仲田のテルク口	伊是名村誌	
14	字諸見のテルク口	伊是名村誌	
15	テルクグーチ(伊是名)	沖縄民俗	
16	勢理客のティルクグチ	沖縄民俗	
17	伊平屋嶋のテルク口説	琉球王朝古謡秘曲の研究	1,6,10,18
18	てるくぐち(伊平屋田名)	沖縄諸島の神歌	
19	てるくーみ(伊平屋村我喜屋)	沖縄諸島の神歌	5,9
20	てるこみ(伊平屋村島尻)	沖縄諸島の神歌	
21	てるくぐち(伊是名勢理客)	沖縄諸島の神歌	12,16

ウムイ

	歌名(地域)	出典	重複番号
75	アタヤノオモイ(久志間切)	諸間切のろくもいのおもり	
84	御嶽ニテノオモイ(金武間切)	諸間切のろくもいのおもり	
117	シノゴのオモイ(国頭間切) 部分	諸間切のろくもいのおもり	
174	毎年旧八月十日のイルチャヤウ節(伊平屋島)	伊平屋嶋テルク口	
198	ヤーサグイのオモイ(羽地村川上)	山原の土俗	
254	田ぬうむい(東村平良)	民俗6号	398,

261	六月二十五日の豊与祭のウムイ<あはなーばなのウ ムイ>(国頭村奥)	沖縄民俗9号	499,
289	立ちウムイ(久志村汀間)	沖縄民俗13号	493,
328	初拝(はちがんまーぬ)(粟国島)	琉球王朝古謡秘曲の研究	
336	たきねーいぬうむい(座間味村)	琉球王朝古謡秘曲の研究	
398	二月の田ぬうむい(東村平良)	金城保ノート	
493	立ちウムイ(名護市汀間)	沖縄諸島の神歌	289,
498	じるまわい(名護市大浦)	沖縄諸島の神歌	
490	杵搗きうた(国頭村奥)	沖縄諸島の神歌	261,

表 雨乞いの神歌

ミセセル

	歌名(地域)	出典	重複番号
1	右同時[大雨乞之時]みすづる	久米中里旧記	
4	罕に早の時雨請の事<伊是名城の川さらい雨請の時 みせせる>	女官御双紙	14,
5	雨なかく降給はさる時、田の上そのひやふのおいへの 御前に一夜籠ゐる時みせゝる(伊平屋島伊是名村)	女官御双紙	15,
6	(雨なかく降給はさる時)山より出て浜にてのみせせる (伊平屋島伊是名)	女官御双紙	16,
14	伊是名城の上に有之、井川さらい、雨乞の時、みせゝ る(伊平屋島伊是名村)	琉球国由来記	4,
15	雨長々不降時、田の神、そのひやふの御いへの、御前 に、一夜籠時のみせゝる(伊平屋島伊是名村)	琉球国由来記	5,
16	右同時[雨長々不降時]、山より出、浜にて雨乞のみせ ぜる(伊平屋島伊是名村)	琉球国由来記	6,

オタカベ

	歌名(地域)	出典	重複番号
1	右同時[大雨乞時]仲里城にて御たかへ言(仲里間切 宇江城村)	久米中里旧記	
2	右同時[大雨乞時]比屋定村志村のおひや家おへい 并まんせたとまり二而御たかへ言(仲里間切比屋定	久米中里旧記	
3	大雨乞之時宇根村にて宇根のろ火之神前江たかへ言 (仲里間切宇根村)	久米中里旧記	
4	右同時[大雨乞時]ゆやいの前大黒まん但小黒まん同 断(仲里間切宇根村)	久米中里旧記	
5	右同時[大雨乞時]奥武の後黒に御たかへ言(仲里間 切宇根村)	久米中里旧記	
6	右同時[大雨乞時]ざんくもりになへ浮御たかへ言(仲 里間切宇根村)	久米中里旧記	
7	右同時[大雨乞時]黒瀬雨乞くもりにて御たかべ言(仲 里間切宇根村)	久米中里旧記	
8	大雨乞時比嘉村嶺井のおひや火之神前二御たかべ言 (仲里間切比嘉村)	久米中里旧記	
9	大雨乞時嶋尻ひや火之前二而御たかべ言(仲里間切 島尻村)	久米中里旧記	
10	右同時[大雨乞時]こうろ瀬二而御たかへ言(仲里間切 島尻村)	久米中里旧記	
11	右同時[大雨乞時]赤せ二而御たかへ言(仲里間切島 尻村)	久米中里旧記	
12	右同時[大雨乞時]神之泊二而御たかへ言(仲里間切 島尻村)	久米中里旧記	
13	大雨乞之時儀間のろ火之神前御たかべ言(仲里間切 儀間村)	久米中里旧記	
14	右同時[大雨乞時]ひらまつ二而御たかへ言(仲里間 切儀間村)	久米中里旧記	
15	いしたうね雨乞御たかへ言(仲里間切儀間村)	久米中里旧記	
38	雨乞の時御たかへ	女官御双紙	
51	伊是名のろくもい火神の御前にてのだて言	女官御双紙	
68	大旱に雲の時の崇(豊見城間切豊見城村)	琉球国由来記	
82	右同時[雨乞いの時]、伊是名のろ火神御前へのだて 事(伊平屋島伊是名村)	琉球国由来記	51,
92	稀に早年之時、雨乞の御たかべ(座間味間切)	琉球国由来記	98,104,
98	稀に早魃の時の御たかべ(渡嘉敷間切)	琉球国由来記	92,104,

104	稀に日干之時の御たかへ(渡嘉敷間切)	琉球国由来記	92,98,
180	雨乞いのオタカベ(首里三平等)	伊波普猷全集 1巻	

ウムイ

	歌名(地域)	出典	重複番号
1	右同時[大雨乞之時]せ野久瀬二而おもろ(仲里間切 宇根村)	久米中里旧記	
2	右同時[大雨乞之時]いしたうね二而おもろ(仲里間切 儀間村)	久米中里旧記	
3	右同時[大雨乞之時]玉城の比屋家二而おもろ(仲里 間切儀間村)	久米中里旧記	
56	比時[稀に旱年之時]の御唄(座間味間切)	琉球国由来記	59,63,
59	比時[稀に旱魃の時]の御唄(渡嘉敷間切)	琉球国由来記	56,63,
63	比時[稀に日干之時]のおもろ(渡嘉敷間切)	渡嘉敷間切由来記	56,59,
156	具志川間切具志川村神人(にっちゅ)のうたふ雨乞の	諸間切のろくもいのおり	
225	大里に於ける雨乞の歌	島尻郡誌	
226	豊見城に於ける雨乞の歌	島尻郡誌	
227	眞壁村或字での雨乞の歌	島尻郡誌	
228	久米島具志川の雨に關聯した歌	島尻郡誌	
247	雨乞の歌(勝連村津堅)	民俗	350,
284	雨乞の謡(渡名喜島)	沖縄民俗11号	
285	雨乞いの唄(読谷村座喜味)	沖縄民俗11号	
349	雨乞いの歌(勝連村平安名)	勝連村誌	
350	雨乞いの唄(勝連村津堅)	勝連村誌	
448	雨乞いの歌	伊波普猷全集 1巻	

クエーナ

	歌名(地域)	出典	重複番号
1	右同時[大雨乞之時]仲里城にてくいにや(仲里間切 江城村)	久米中里旧記	
2	右同時[大雨乞之時]しにやうにてくいにや(仲里間 切比屋定)	久米中里旧記	
3	堂のおひや家にて右同時[大雨乞之時]くいにや(仲 里間切堂村)	久米中里旧記	
4	右同時[大雨乞時]かういにや(仲里間切宇根村)	久米中里旧記	
5	右同時[大雨乞之時]大蔵下にてかういにや(仲里間 切真謝村)	久米中里旧記	
6	右同時[大雨乞之時]同所[比嘉村嶺井のおひや火の 神前]并くいにや込にてくいにや(仲里間切比嘉村)	久米中里旧記	
7	右同時[大雨乞之時]同所[神の泊]二而くいにや(仲 里間切島尻村)	久米中里旧記	
8	右同時[大雨乞之時]同所[いしたうね]二而くいにや (仲里間切儀間村)	久米中里旧記	
9	右同時[大雨乞之時]同所[ひらまつ]二而くいにや(仲 里間切儀間村)	久米中里旧記	
10	右同時[大雨乞之時]同所[玉城比屋家]二而くいにや (仲里間切儀間村)	久米中里旧記	
11	右同時[大雨乞之時]儀間浜二而くいにや(仲里間切 儀間村)	久米中里旧記	
12	あらはま二而くいにや(仲里間切儀間村)	久米中里旧記	